

2021年11月11日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

「PRIDE指標2021」における「レインボー」と「ゴールド」の同時受賞について



野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、「新たな価値を生み出すために、多様性を尊重し、組織や立場を超えて協働する」という企業理念のもと、社会課題の解決を通じた持続可能な成長を実現するため、ダイバーシティ&インクルージョン(以下「D&I」)を推進しています。

このたび当社は、職場における LGBT への取組みの評価指標「PRIDE 指標 2021」において最高位の「ゴールド」を受賞しました。「PRIDE 指標」がスタートした 2016 年より 6 年連続での「ゴールド」受賞となります。さらに、ゴールドを受賞した企業の中から、コレクティブ・インパクト型の取組みを実施する企業を表彰する「レインボー」も同時受賞しました^{※1}。

野村グループでは、2012年にLGBTへの差別禁止を「野村グループ倫理規程」(現在は「野村グループ行動規範」^{※2}に統合)に明記しました。2019年には、国際連合「LGBTIの人々に対する差別解消への取り組み～企業のためのグローバル行動基準～」に、日本の金融・証券業界で初めて正式に署名^{※3}するなど、LGBTへの差別禁止を国内外に示してきました。また、2010年より開始した、社員が自発的に活動するD&I社員ネットワークによるLGBTへの理解を深めるための啓発活動や社員向け研修・勉強会の実施、同性・異性を問わず申請できる「パートナーシップ制度」の導入、トランスジェンダーの働き方を支援する「トランスジェンダー対応ガイドライン」、相談窓口の設置など、LGBT当事者が安心して働くことができる環境の整備も進めてきました^{※4}。

今後も当社は、LGBTを含む多様なバックグラウンドを持つ社員が安心して、やりがいを持って働くことができる職場風土を醸成し、すべての人が安心して暮らしていくことができる社会の創造に貢献していきます。

- ※1 PRDIE 指標は、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5指標について評価項目を設定し、企業の取り組みを評価したものです。
- ※2 <https://www.nomuraholdings.com/jp/company/basic/coc.pdf>
- ※3 2019年4月24日付ニュースリリース「LGBTIに関する新たな取り組みについて」をご参照ください。
https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/holdings/20190424/20190424_a.pdf
- ※4 当社のD&Iの取組みの詳細については、当社ホームページをご参照ください。
<https://www.nomuraholdings.com/jp/sustainability/employee/di.html>

以 上